

連続講座

# 目で見る

# イギリス児童文学の歴史

講師が所蔵するイギリス児童文学に関わる貴重なコレクションを紹介していただきながら、イギリスの子どもの本の歴史についてご講演いただきます。

## 第1回 最初期のイギリスの 子どもの本から始めて

2020年1月25日(土)

「娯楽と教育」を両立させようとした時代、といわれる19世紀半ばころまでの子どもの本についてお話いただきます。



*The Life and Perambulation of a Mouse.*  
John Marshall. 1792.(推定)



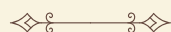
## 第2回 子どもの本の 「第一次黄金時代」

2020年2月22日(土)

ヴィクトリア時代のイギリスの子どもの本には、現在では、出版できないような豪華本もあり、美しい本やデザインに優れたものが多くあります。それらを見せていただきながら、ヴィクトリア時代の子どもの本の特徴をお話いただきます。



*The New Child's Play.*  
By E.V. Boyle, 1879.



## 第3回 20世紀イギリスの子どもの本

2020年3月15日(日)

20世紀のイギリスの作品は多くが日本でも翻訳されています。ファンタジーと絵本の分野を中心に、子どもの本の多様性についてお話いただきます。



*A New Dress for an Old Friend intended for the amusement of Children. Being A Fable of Aesop in Rhyme.* By Mary D.J. Carmichael. Henry Vernon, 1857.

全3回 / 各回14:00~15:30

連続講座3回の中で、  
1回だけの選択も可能です。

講師

三宅 興子 さん

当財団特別顧問、  
梅花女子大学名誉教授



児童文学研究者、絵本研究者。大阪生まれ。日本イギリス児童文学学会会長、絵本学会会長、日本児童文学学会理事などを歴任。2010年~2015年6月まで大阪国際児童文学振興財団理事長を務める。2019年に世界で優れた研究者に与えられる国際グリム賞を受賞。

[主な著書]

『イギリス児童文学論』翰林書房 1993年 / 『イギリス絵本論』翰林書房 1994年 / 『イギリスの絵本の歴史』岩崎美術社 1995年 / 『ロバート・ウェストール』KTC中央出版 現代英米児童文学評伝叢書 2008年 / 『イギリスの子どもの本の歴史』『イギリスの絵本の歴史』『日本の絵本の歴史』翰林書房 2019年 等多数

大阪府立中央図書館 2階大会議室

東大阪市荒本北1-2-1 近鉄けいはんな線荒本駅 北西400m

対象：子どもの本に関心のある方ならどなたでも 定員：各回50名(申込先着順) 参加費：各回 一人 1,000円

申込方法：HP、電話、ファックス(受講希望の回を明記してください)

主催・問合せ

助成：子どもゆめ基金助成活動



一般財団法人

大阪国際児童文学振興財団

International Institute for Children's Literature, Osaka

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL 06-6744-0581 FAX 06-6744-0582

http://www.iiclo.or.jp/ E-mail:office@iiclo.or.jp